



「自信」

『根拠のない自信を持つことですよ』とラジオのインタビューで朗らかに答えたのは泉忠司（いずみただし）さん、1972年1月14日高松市生まれの34歳。5月16日火曜日のラジオカーレポートでお話を伺った方でした。ここで泉忠司さんをご紹介！1990年高松東高等学校を卒業、高校3年生の時全科目偏差値30程度から半年で全国模試1位に、ケンブリッジ大学留学、早稲田大学British Studies 研究客員研究員などを経て、現在は横浜市立大学、青山学院大学、国士舘大学、日本工業大学の講師、週25コマの授業を担当。専門は19世紀以降のイギリス文学文化全般。その実人生や独自の教育理論から「本物のドラゴン桜先生」と呼ばれている方です。ちなみに「ドラゴン桜」とは週間モーニングに連載されTVドラマ化もされました。元暴走族の弁護士が偏差値30代の高校生たちを東京大学に導いてくという物語です。

さてそんな「本物のドラゴン桜先生」の素顔とは???第一印象は「とても華奢な方だなあ」そして打ち合わせをさせて頂くにつれ感じたことは（以外と言っては失礼なのですが・・・）「きちんと私の話も聞いてくださる方だなあ」ということです。頭の回転が速い方の中には一方的にご自分の主張をされ、起承転結まで一気にトーク！（まあこれが結構まとまっていたり、おもしろかったりする場合もあるのですが・・・）時に、なんとも後味の悪い取材などになることもあるものです。泉さんへ

の取材は約30分という短い時間ではありましたが、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。



KOMO「どんな高校生だったんですか？」
泉氏「不良でした。学校も休んだりしてね。（笑）」

KOMO「偏差値30程度から全国模試1位、半年間で何が起こったんですか？」

泉氏「きっかけは彼女と別れたこと、人生これでいいのか？と思った瞬間これではいけない、勉強せねば・・・道は開けていかぬかもと思ったらとりあえず目の前にあった大学受験を目標にと思ったんです。」

KOMO「泉流の勉強法とは？」

泉氏「まず自己分析、自分はどこまでわかり、どこがわかっていないのかを知ること。そして大学受験の場合は、自分にピッタリな参考書を見つけること、数ページ問題を解いてみて判断する、キチンと理解ができ把握できる参考書かどうか？参考書は何十冊と買いました。勿論選ぶのにも時間をかけましたよ、あと学校で一番勉強ができる学生にもやり方を教えてもらったりしてね」

KOMO「でももともとは頭よかったですか？」



泉氏「確かに中学生までは優秀だったと思います・・・」

KOMO「やっぱり・・・」

泉氏「ハハハ、まあ基本はやっぱり大切ですよ」

KOMO「やっぱり・・・」

などと高校時代のお話から現在の様子までいろいろと伺いました。

泉さんは大学講師のほか様々な活動をされています、舞台やミュージカルの俳優、脚本家、演出家としての顔、そしてジュエリーデザイナーや小説家としての顔、24時間では足りないお忙しい毎日であることはまちがいないと思うのですが、ご本人はいたって冷静に「どれも同じですよ・・・」どの仕事も活動もある意味つながっているんですから、そして大切なことは根拠のない自信を持つこと」ときっぱり。何かをするときにあれやこれやと理由=根拠をつける

のではなくとにかくやってみること。そういえば何かをあきらめたり、やらなかったりする時、いろいろと理由をつけるものです。「時間がなかったから、人が言ったから、そんな能力ないから」などなど、そうかそうか、自信には根拠はいらない!「自信」字の如く自分を信じる事……だとすると根拠はいらないにしても信じられる自分になることは必要ということですよ。今回泉さんは母校である高松東高校で行われた講演会と模擬授業で故郷高松に帰ってこられました。母校での講演活動についても「僕が自分で売りこんだんです!」と自信満々の笑顔でニコリ。さすがです!パチパチ!今現在根拠のない自信はまだまだ持てない私ではありますが、信じられる自分作りは日々の努力からということで、2006年夏も一歩一歩精進してまいりたいと思います!



～サイン中～



～泉さんのサイン!本も出版してますよ～

泉忠司さん情報

泉忠司公式ページ: <http://www.izumi-tadashi.net>

泉忠司楽天日記: <http://plaza.rakuten.co.jp/izutada>